

テーマ19

インクルーシブスポーツの実現に向けた
情報マッチングモデルの検証（浜松市）

1. 解決したい課題の内容

・浜松市では誰もがスポーツを楽しむことのできるインクルーシブスポーツの環境づくり及びスポーツの力を活かしたまちづくりを進めている。その実現のためには、スポーツの「する」「みる」「ささえる」に関する情報を集約し、プロスポーツチームや地域スポーツクラブ、企業、指導者、サポーターなど、様々な主体のニーズとシーズをマッチングさせ、資金調達や担い手確保などスポーツに係る課題の解決や、スポーツが持つ力を活かした地域課題解決を、連携、協働、共創を通じて進めていくことが必要であるが、現在以下のような課題がある。

- ・国、県、市レベルで様々なスポーツに関する情報提供サイトが存在し、情報が分散しているため、どこを見ればよいかわからず、情報が上がってこない。
- ・現状、当地域においてオンラインで実施されているスポーツに関する課題解決や人材マッチングは、静岡県スポーツ協会が提供するスポーツ人材バンク等、一部分野に限られ、また県単位限定である。
- ・様々な主体間の連携、協働、共創に係るマッチングは、市やスポーツチーム、競技団体等の人的ネットワークの中で、案件ごとに個別調整するしか手法がないため、調整を行う主体にかかる負荷が大きく、また、広がりに限界がある状況である。

2. 実現したい目標について

- ・浜松市においてスポーツを「する」「みる」「ささえる」に携わる人々が（のニーズとシーズのマッチングがデジタル/リアル双方の場で行われ、）自発的かつ持続可能に連携、協働、共創できる環境が広がっている。
- ・浜松市においてスポーツを「する」「みる」「ささえる」に携わる人々が、それぞれ必要とする情報にアクセスできる状態となっている。
- ・地域におけるスポーツ振興の担い手の確保や資金調達など、スポーツ政策を取り巻く課題が解決されるとともに、共生社会の実現や地域活性化など、スポーツの力を活かした幅広い社会課題解決・インパクト創出が実現している。
- ・スポーツの人材・情報に関して、公共領域からの資金に依拠しない、財政的に自立したマッチングシステムが運営できる状態となっている。

3. 必要とする技術について

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・情報を集約し一元的に閲覧ができるシステムの構築・運用技術
- ・集約された情報をもとにマッチングを行う技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

上記技術をもとに作ったシステムのプロトタイプなどを実証的に関係者に試用してもらい、マッチングの成立と具体的な連携の創出につなげる仕組み作りの検証を行い、フィードバックを受ける。

※なお浜松市では今年度、インクルーシブスポーツ推進のための官民連携のプラットフォームを立ち上げる予定であり、PF 参画団体に対して、実証実験へのモニター協力等の呼び掛けを行うことが可能です。(参画団体側での協力受入を確約するものではありません)

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・浜松市「オープンデータの取組 スポーツのイベント」

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/odpf/event/v1.html?m=index&x=221309_hamamatsu_event&t=N&x=221309_hamamatsu_event&s=%E3%82%B9%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%84

- ・(参考) 浜松市スポーツ協会「教室・イベントからのお知らせ」

<https://hamamatsu-sports.or.jp/classinfo/>

- ・(参考) 浜松市スポーツ・文化施設予約システム「まっぼっくり」

<https://www.mb.eprs.jp/w/view/user/homeIndex.html>

- ・(参考) 静岡県スポーツ協会「しずおかスポーツ人材バンク」

<https://ssj-bank.com/>

- ・(参考) 静岡県「静岡県スポーツ情報ポータル」

<https://shizuoka.sports-town.jp/>